

没落令嬢嫁を媚香で籠絡

花嫁性服 上



R-18

1304
Presents





久しぶりだというのに
随分不躰な手紙を
寄越してくれましたね

昔あんなことをしておいて
よくも俺を頼れたものだ

ある日、突然訪れた
父の義兄弟と名乗る
資産家の男



融資はしても
構わないが

返してもらいますよ
俺の物を……

不吉な雰囲気を感じた
あの男に

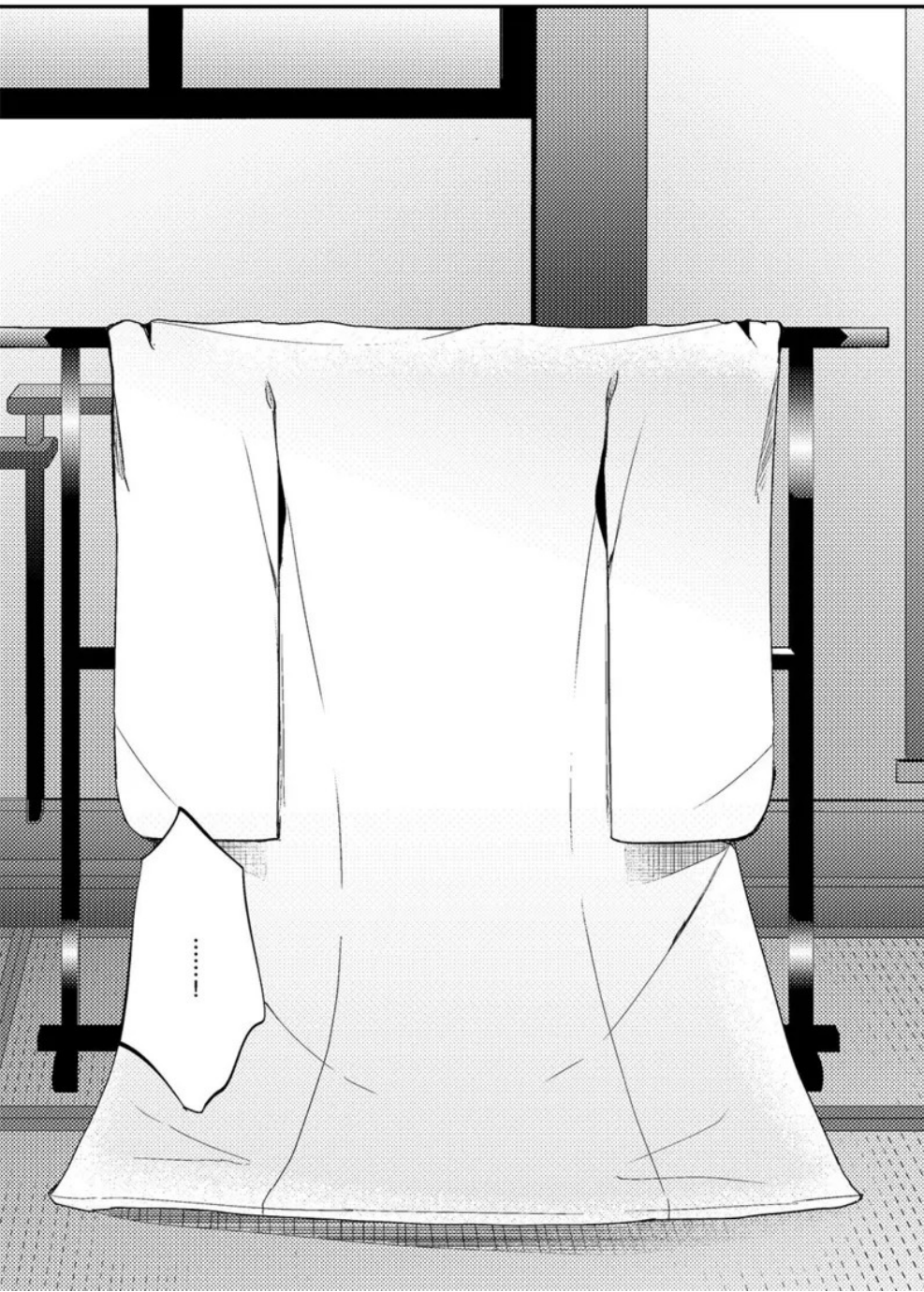


お義兄さん

あの日
すべてを奪われた

花嫁性服







俺からの
プレゼントだよ

なんなの…
これは？



君は18の春に…
俺の妻として
これを着るんだ

…！



ほんっ？

身内がいなくて
寂しいだろうが……ッ

他にも服や
必要なものは
用意した

その時まで…
この部屋が君の鳥籠だ



そうかい？
だが君の持ち物はもう…



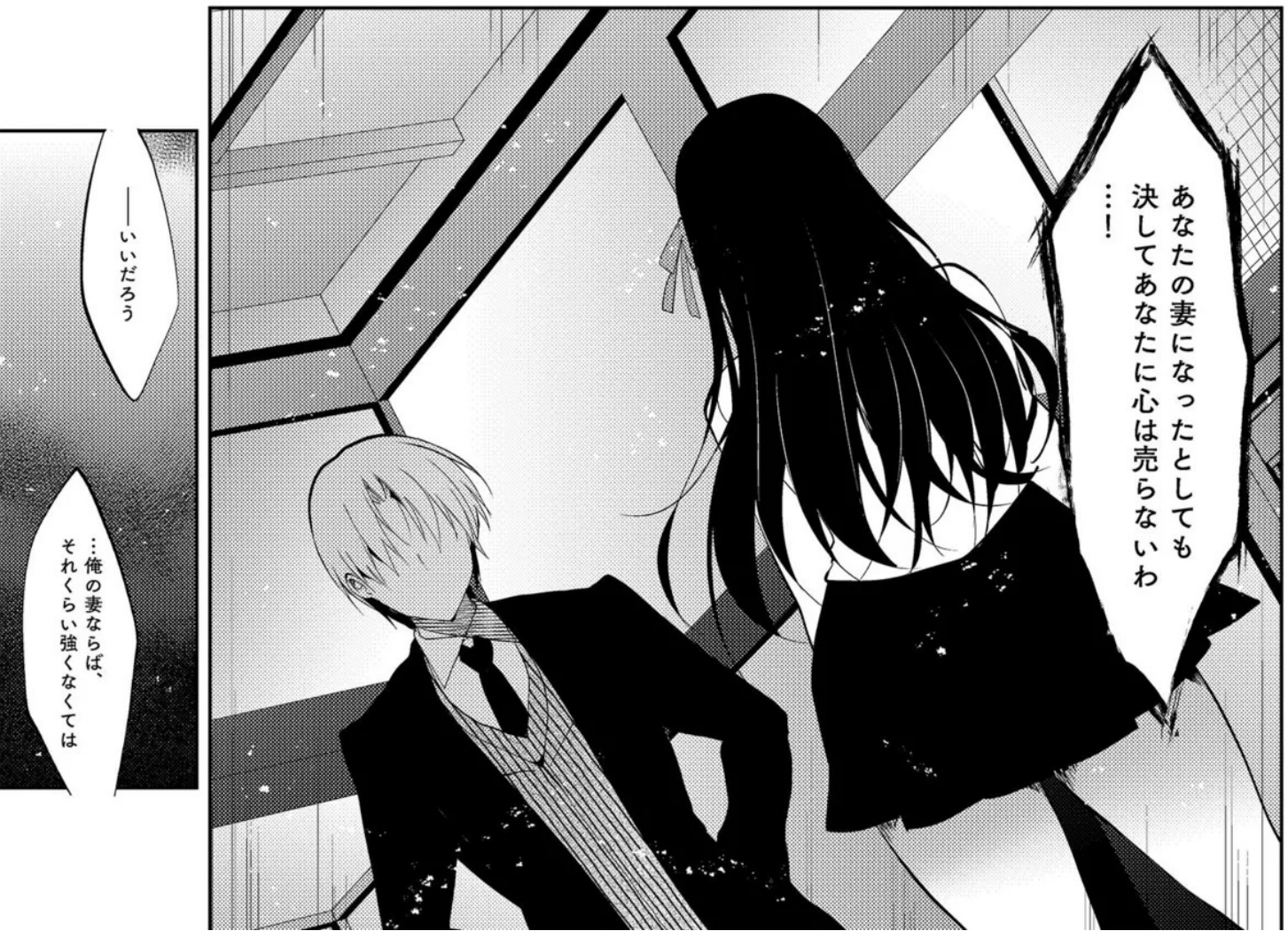
—贈り物なんか
いらないわ



あなたの贈り物なんて
受け取らない…！



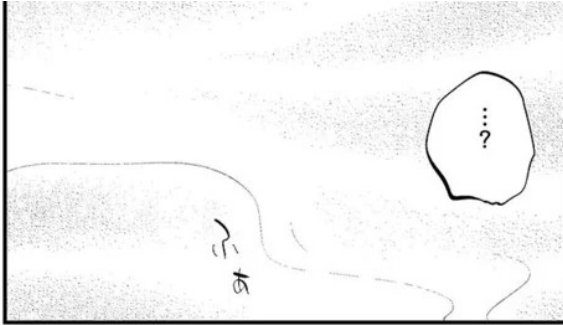
私の物は、
この服だけがいい



あなたの妻になったとしても
決してあなたに心は売らないわ
…！

—いいだろう

…俺の妻ならば、
それくらい強くなくては



...?



怖いのか?



では—
妻としての
最初の仕事だ



なに...
この匂い...
甘...



...ッ

フッ
フッ



だから
安心して
俺に犯されるといい

...破瓜の痛みはすべて
快感に変わる

しゅる

君が生娘だと
いうことは知ってる
せつかくの夫婦の営みを
喚かれて台無しにされたく
ないからな



媚香だよ



その通りだ

ふ...あ...っ...



...あなたって—
最低の男だわ...っ



...ッ





だから――



俺の目的は、君を犯し…

孕ませ

そして、この家を奪うことだ



あっ♡あ…っ!?

やあっ! 抜いて…



~~~~~ツ…!!

~~~~~ツ…!!

~~~~~ツ…!!

~~~~~ツ…!!

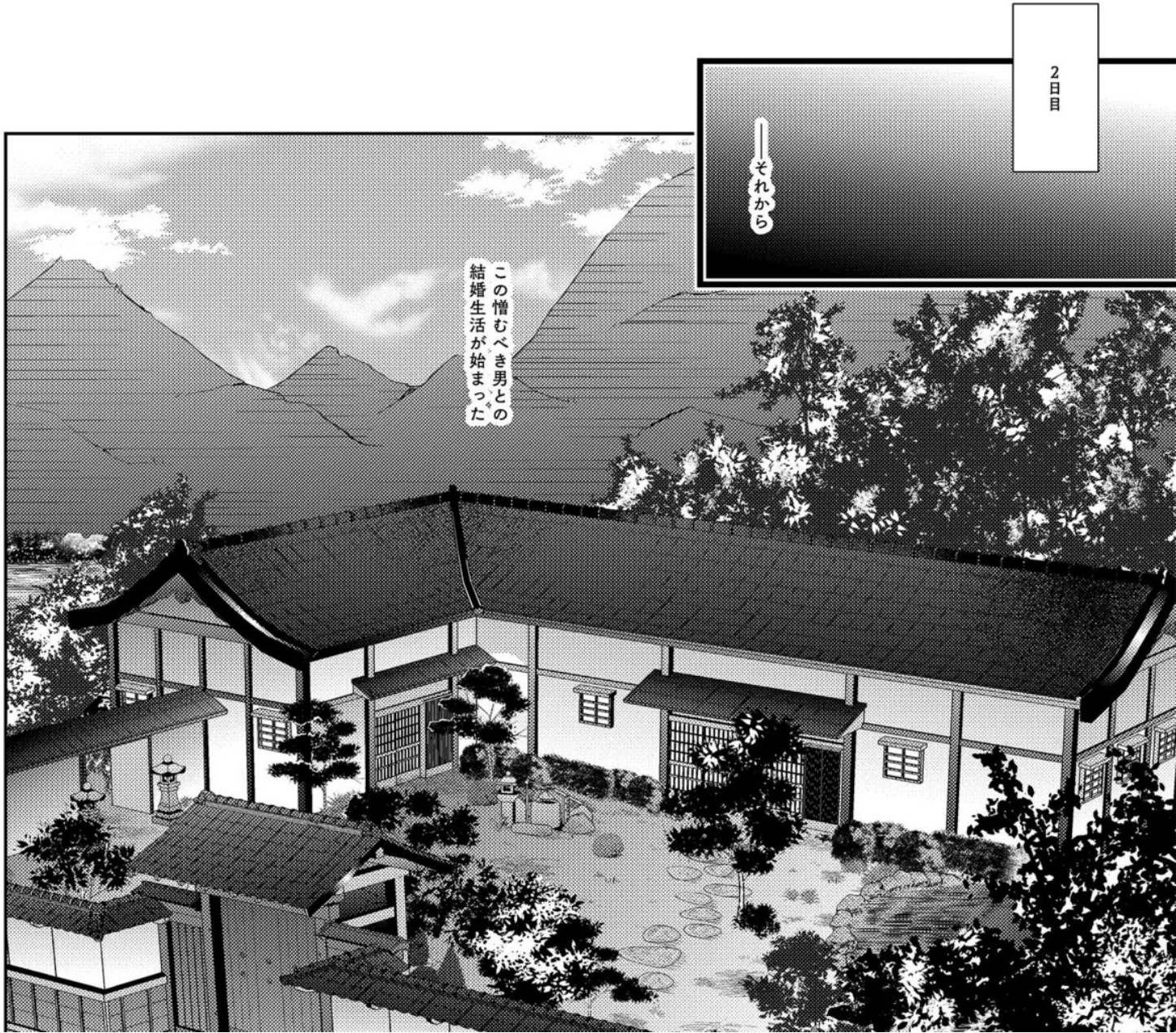


はあっ…

こんなこと…

こんなこと…

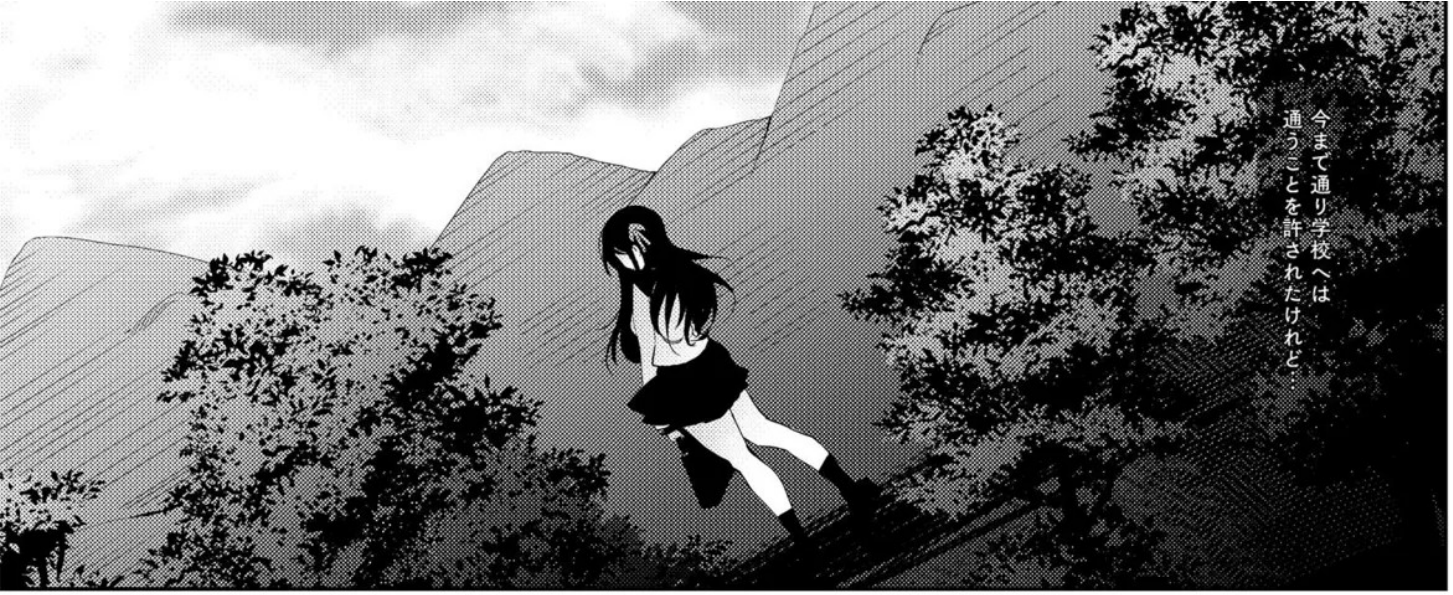




2日目

—それから

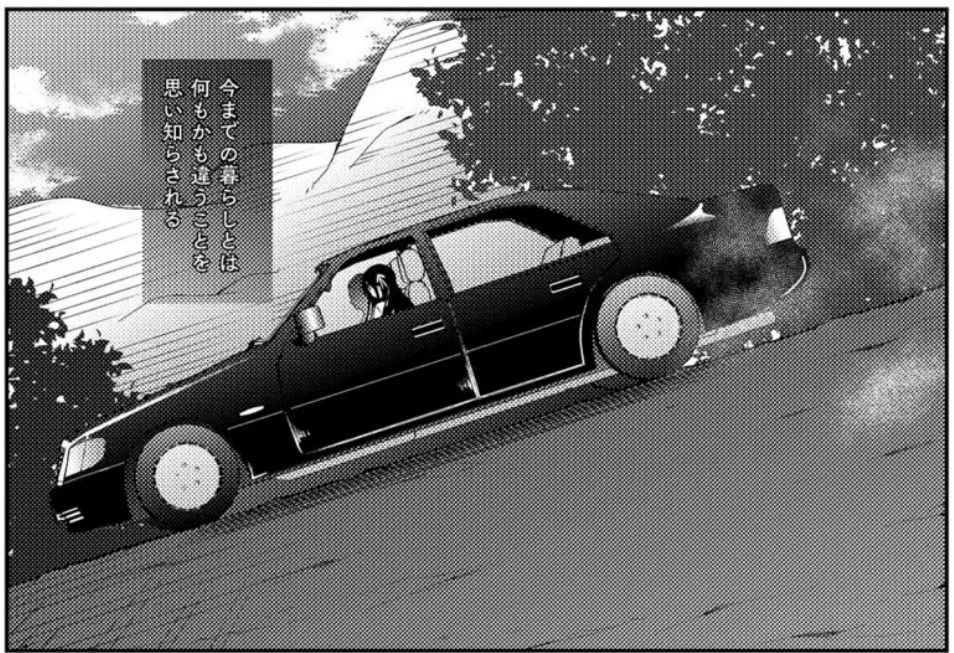
この憎むべき男との
結婚生活が始まった



今まで通り学校へは
通うことを許されたけれど……



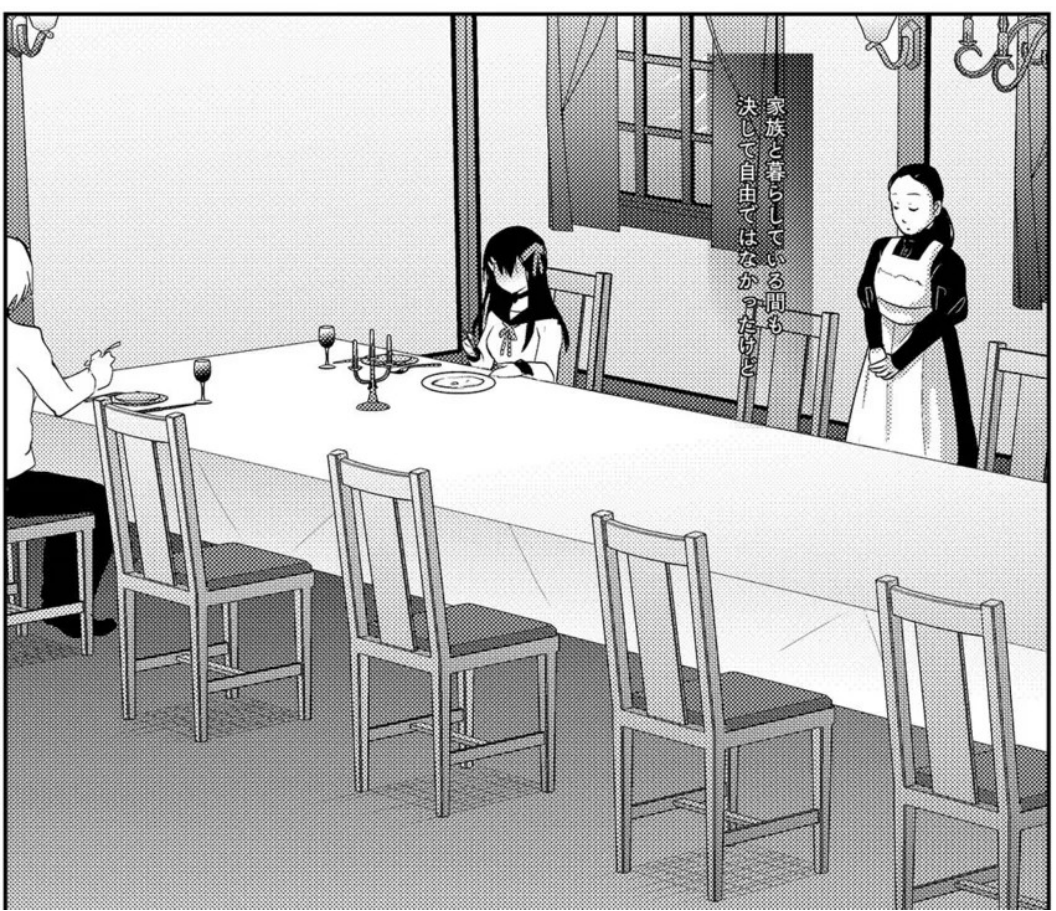
歩いて学校へ
行くのは
初めてだわ……



今までの暮らしとは
何もかも違うことを
思い知らされる



この男と摂る食事は
こんなに味気ないのね……



家族と暮らしている間も
決して自由ではなかったけど……

今日もちゃんと
腔内に溜め込んだか？

うああ…♡ツもっつ…！
いっほいだってほ…ツ！♡

そうかい
だが—



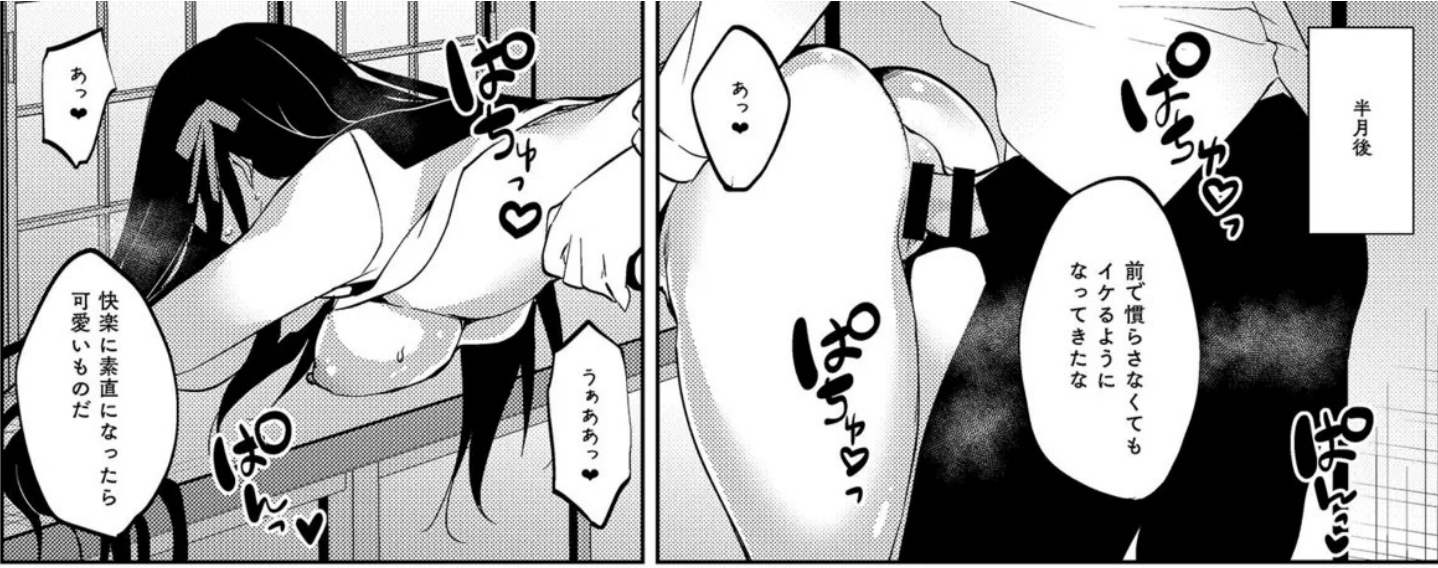
ちゃんと
確認しなければな

ぐちゅ♡



あうツ、それしたら…
で…





快楽に素直になったら
可愛いものだ

うあああ♡

前て慣らさなくても
イけるように
なってきたな



それとも……
身体を開発されたくらいで
心まで許してくれた、とか？

だ、誰が……

あなをなんかに……ッ！



あっ！！はああ♡



一か月後

君の若さを考えれば
そろそろ妊娠しても
いい頃合いだが...

どうやら俺は君の父と違って
コッチは強くないらしくてね

あっ♡
何度も何度も...
君を犯すしかないようだ

君が俺の子種で孕むまで...

ふあっ♡

いやあッ♡あっ♡あっ♡



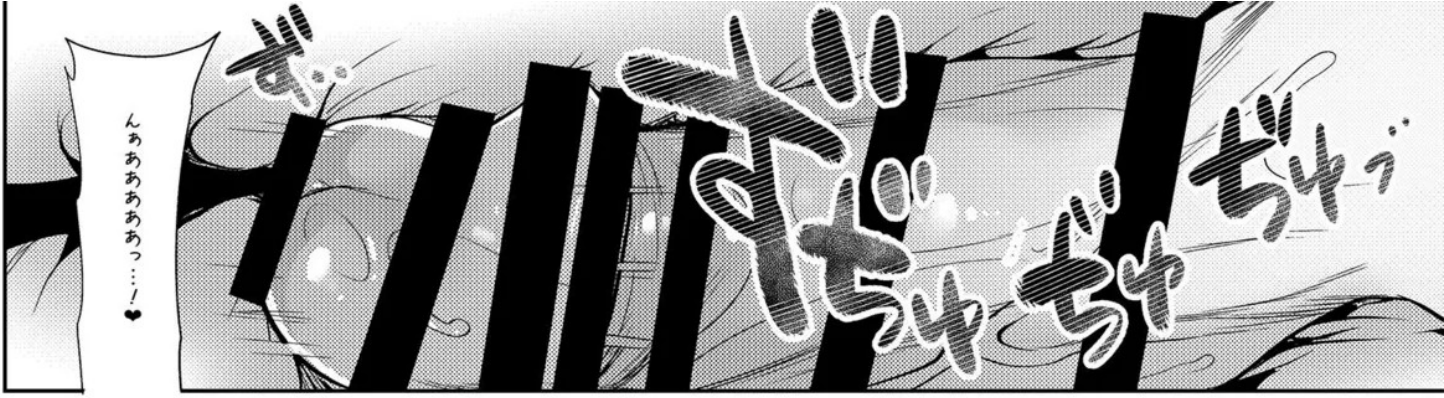
ぼろろ♡

ぼろろ♡

眉唾な知識だが

深い快感を感じている女性は
孕みやすいと聞く





んあああああつ...!♡



憎んでいる男に
快楽に堕とされて

浅ましいメス犬みたいに
いき狂えッ...!!



ほら、イクんだろ？

イケ！中射精されて
淫らにイケッ...!!

